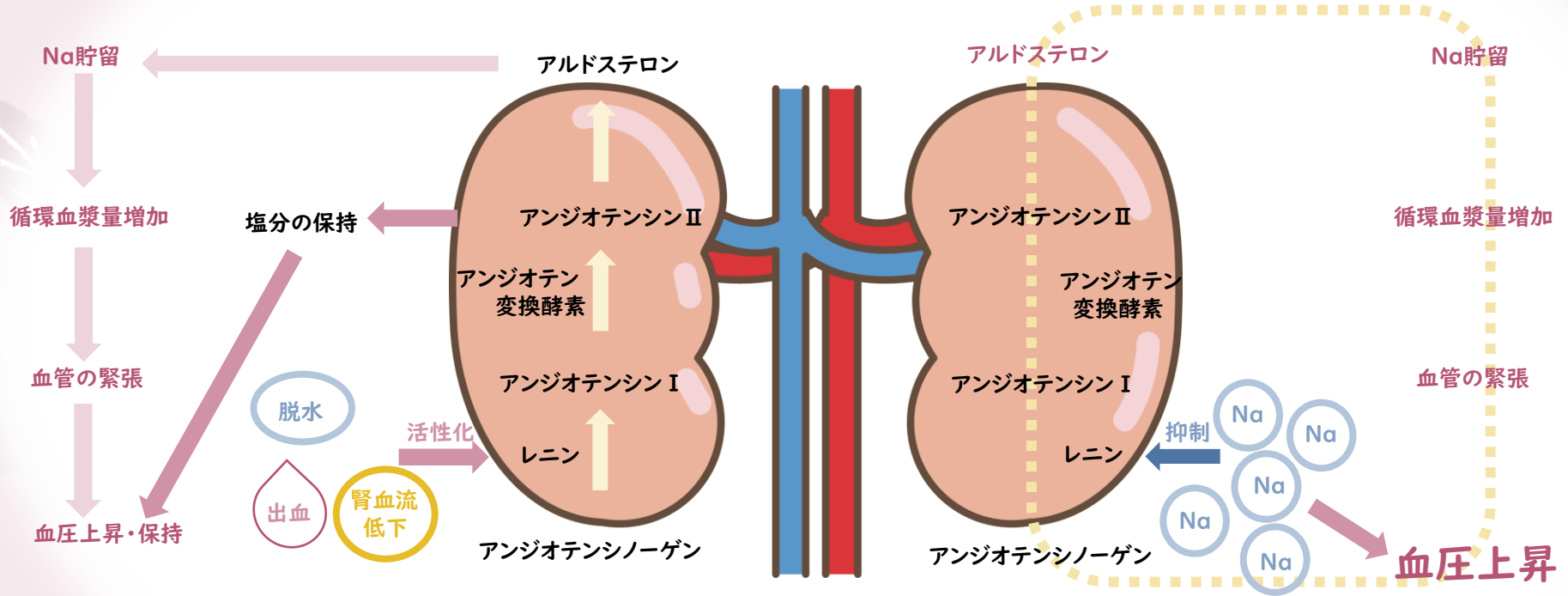


心不全療養指導勉強ノート⑫
～食塩感受性高血圧～



減塩(食塩6g以下)

塩分過多



Naが多いとレニンは抑制されてRAS系は抑制されるが、Naが血圧上昇にかかわり血圧が上昇する

◆RAS系活性されているからARB効く

◆RAS系抑制されているからARB効かない



食塩感受性高血圧 = 塩分の影響を受けやすい高血圧

- 腎機能障害
- 糖尿病
- 肥満
- 家族歴(遺伝性)
- 高齢者
- 女性
- インスリン抵抗性
- 低レニン
- SAS
- 原発性アルドステロン症



Naが外に出ていかない
= 血圧を上げないとNaを排泄できない



圧利尿以外の方法で
腎臓からのNa排泄を増やす薬剤の併用が望ましい

→ サイアザイド系利尿薬
MRA
ARNI
SGLT2i

食塩摂取



神経体液性因子の反応
(RAS↓、NP↑、PG↑)

総Na量 ↑

GFR ↑

Na排泄障害が食塩感受性高血圧

Na排泄 ↑

細胞外液量 ↑

Na再吸収 ↓

圧利尿
= 血圧をあげるによりNaを排泄しようとする

血圧 ↑



大濠内科